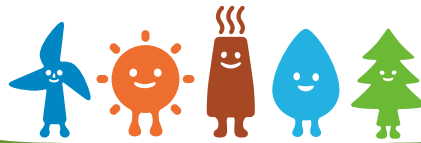


市民による地域発の
エネルギーが
始まっています。



みんな、育エネ。

再生可能エネルギーファンド&共同出資事例集

地球温暖化や環境破壊を食い止めるため、私たちにできることは何か。

今、市民による「再生可能エネルギー」への取り組みが全国各地で進んでいます。

資源を大量に消費する大型の発電設備から、

身近な自然エネルギーを有効活用する「再生可能エネルギー」へ。

一つひとつの施設は小さくとも、たくさんの施設が連携することによって

地産地消の電力を地域全体で手に入れることができるのです。

全国ではじまっています！ 市民による「育エネ」



これらは、これまでに育った市民発電所の一例を紹介しています。
全国で新しい芽が次々と育っています。



活動報告が送られてくるからか、
ファンド購入後の方が
環境問題への関心が
高まりました。



孫の名前で購入しました。
満期の時には孫も成人。
未来への楽しみが
1つ増えました。



投資をすることによって、
国や地域、地球環境にも貢献できる点が
何よりの魅力。



こうした取り組みが
全国で根付いていけば素晴らしい。
ファンド設立の趣旨に賛同します。

多く人の気持ちとお金が集まることで
具体的な行動に移せる。
ファンドは有効な手段。



お金を使うことは
世の中に意思表示をすること。
ファンドは納得できる使い途でした。



利益が出て配当金が出た時は
嬉しかった。
寄付とはまた違った形の
喜びがあります。

声も集まりました

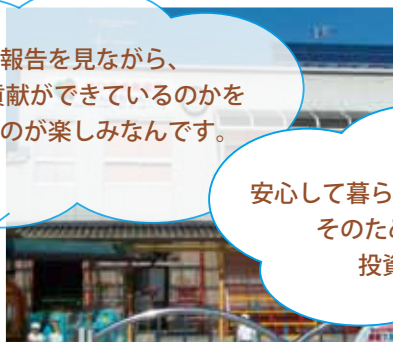
当事例集では、市民による
ファンド出資や寄付による代表的な取り組みを中心に
全国各地での事例を編纂しました。

未来のためにできること。

市民主導の着実な歩みをご紹介します。あなたも「育エネ」、はじめませんか？



事業報告を見ながら、
今どんな貢献ができていのかを
確認するのが楽しみなんです。



自然のめぐみを電力に変え、
環境への負荷を減らす。
今、最も必要な取り組みですね。

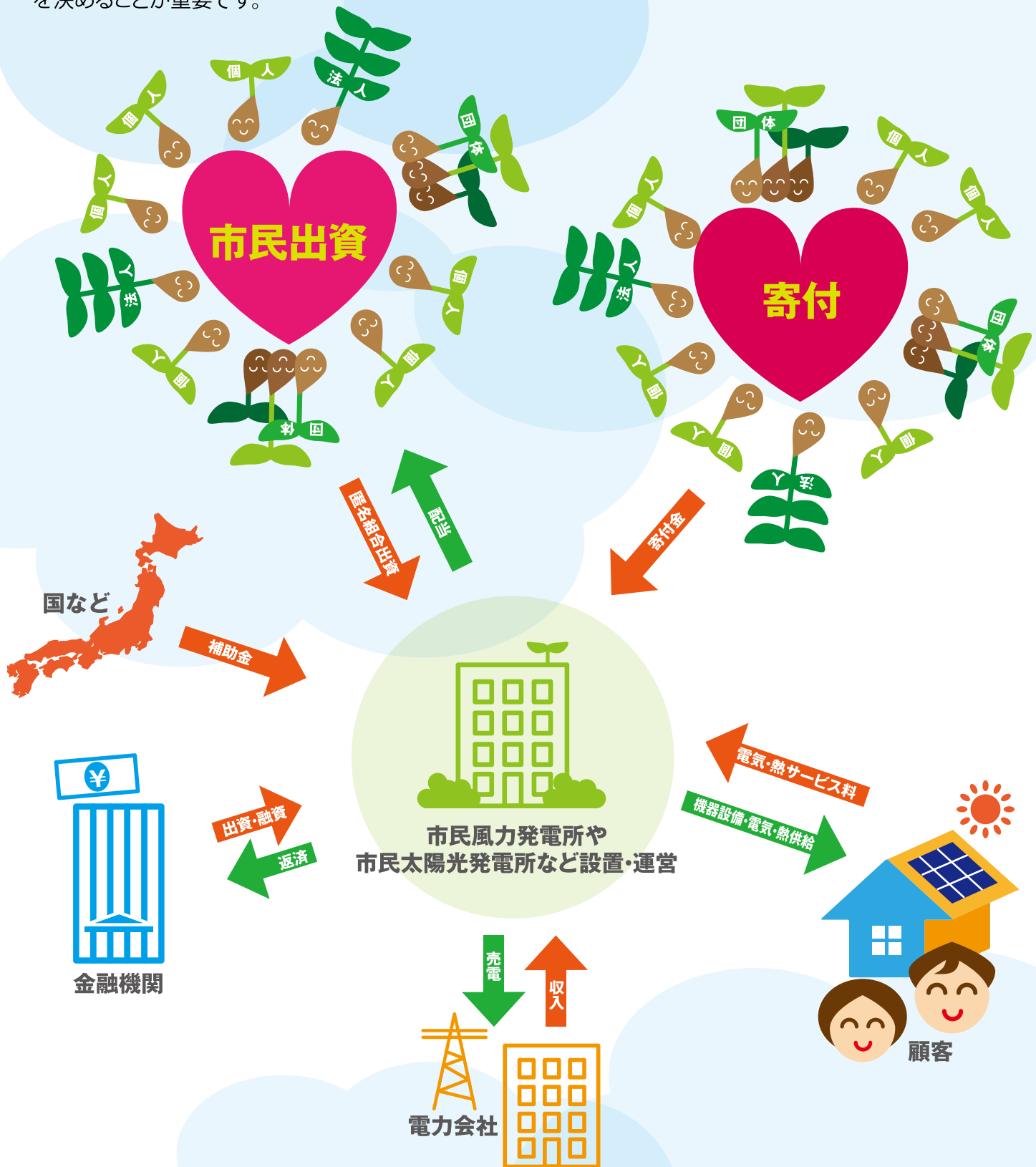
安心して暮らせる環境を次の世代へ。
そのための第一歩として
投資をしました。



ファンド、寄付などの仕組み

「市民自らの手でエネルギーを創りたい!」という声の高まりとともに、各地に市民出資や寄付を募る市民ファンドが立ち上がっています。

各運営会社やファンド業者の決済システムや運用の透明性、持続性、インセンティブなど確認の上で出資を決めることが重要です。



「金融商品取引法では、匿名組合などのファンドへの出資を募る者に対して、原則として登録又は届出を義務付けています。お問い合わせは、各財務局等まで。 <http://www.fsa.go.jp/common/shinsei/fund.html>

ファンド業者が守る必要のある規則

再生可能エネルギー発電のリスク

一般投資家のみなさまへの注意点

次ページ
以降の
ページ下部を
ご覧ください

代表的な再生可能エネルギー発電の方法

風力発電

- 発電コストが低い
- 夜間も稼働
- 変換効率が高い

風力で風車を回し、その回転運動を発電機に伝えて電気エネルギーを起こします。大型のものから住宅や学校などの公共施設に設置される小型のものも。水平軸のプロペラ型や垂直軸の型など様々な形式が開発されています。

太陽光発電

- メンテナンスフリー
- エネルギー源は太陽光
- 未利用スペースを有効利用

太陽の光エネルギーを太陽電池で直接電気に変えるシステム。家庭用から大規模発電用まで導入は広がっています。直流の電気を発生させますからコンディショナーなどで交流に変換して使用されます。

水力発電

- 安定した発電が可能
- 確立した技術がある
- 河川環境の改善にも利用

水力発電はダムなどの落差を活用して発電します。古くから日本のエネルギー供給源として重要な役割を果たしてきました。現在、農業用水路や小さな河川も利用する中小規模のタイプ（1000KW以下）が注目されています。

バイオマス発電

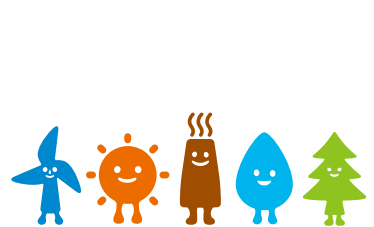
- 資源の有効利用
- 廃棄物の削減に寄与
- いつでも使える

動植物などの生物資源（バイオマス）をエネルギー源にして電気や熱を作ります。かつては廃棄物として処理していた建築廃材、農業残渣、食用油、食品廃棄物などに様々な処理をすることでエネルギー資源として活用します。

地熱発電

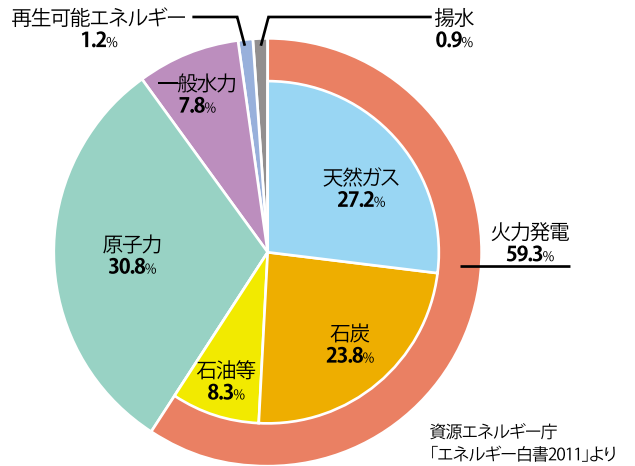
- 24時間稼働
- 豊富な賦存量
- 蒸気・熱水の再利用

地下に蓄えられた地熱エネルギーを蒸気や熱水などの形で取り出し、タービンを回して発電します。使用した蒸気は水にして、還元井で地中深くに戻されます。
※開発規模、準備に時間がかかるため市民ファンド等には馴染みが薄いですが、将来有望な発電方式と言われています。



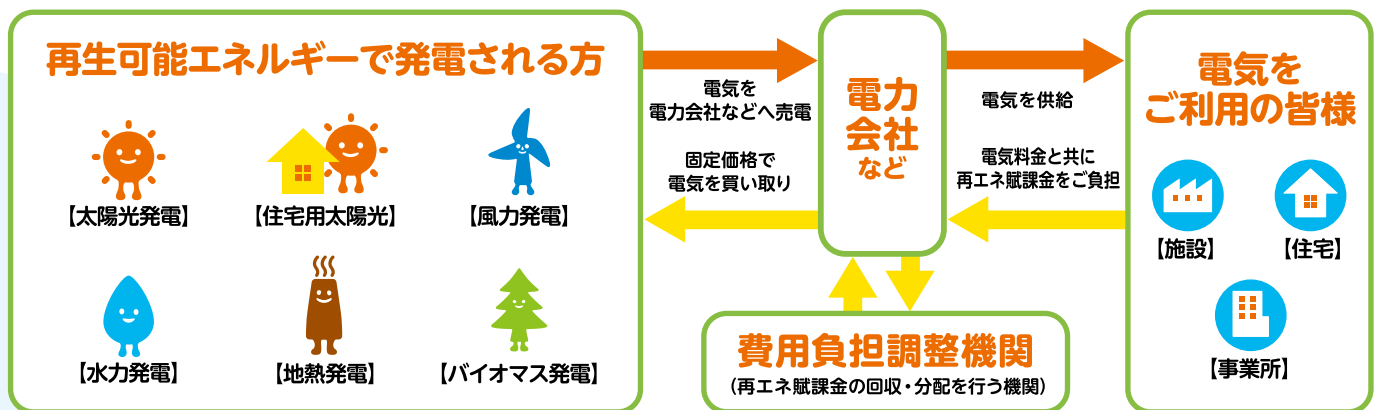
日本の電源構成

私たちの暮らしにおいて、電気は欠かすことのできないものです。日本の電気のほとんどは、火力発電によって作られています。それは天然ガスや石炭から電気を作る方が安かったためですが、世界中のエネルギー需要が伸びるなか、日本がこれからも安定して天然ガスや石炭を買い続けられる保証はありません。日本の中で作られる再生可能エネルギーが私たちの暮らしを支える電気の一つとなるよう、育てていくことが大切です。



再生可能エネルギーの固定価格買取制度

再生可能エネルギーがわたしたちの暮らしを支えるエネルギーの一つとなることを目指して、再生可能エネルギーを使って発電した電気を電力会社などが買い取る仕組みができました。買い取りの資金として、ひと家庭あたり、毎月約100円ずつ負担することで、みんなで再生可能エネルギーを育てていこうというのが、2012年7月からスタートした「再生可能エネルギーの固定価格買取制度」です。





NPO法人 北海道グリーンファンド



各種問い合わせ先
〒060-0061 北海道札幌市中央区南1条西7丁目
岩倉ビル3階
TEL 011-280-1870 FAX 011-280-1871
E-mail office@h-greenfund.jp
URL <http://www.h-greenfund.jp/>

成り立ち

便利で快適な暮らしを続けながらも「このままで大丈夫だろうか」「何か自分にできることはないか」、そんな思いを抱いている人も少なくありません。北海道グリーンファンドはこうした状況を何とか変えていきたいという思いから立ち上げたNPO。「市民の手によるエネルギーづくりの実践」を掲げ、独自の「グリーン電気料金制度」や「市民共同発電所事業（市民風車）」などに取り組んでいます。

活動内容

「グリーン電気料金制度」で積み立てた基金と市民からの出資で「市民風車」を建設。2001年に1号機となる「はまかぜちゃん」の建設以来、全国各地の市民グループと提携を図り、北海道、青森県、秋田県、石川県、茨城県、千葉県に14機の市民風車を導入しました。

資金調達方法


寄付

行政からの補助金・助成金


民間金融機関からの借入

市民ファンド

出資者の声



孫の名前で契約しました。このファンドは15年と契約期間が長期ですが、満期となる頃に孫はちょうど成人式を迎えます。それまでじっくりと、環境に貢献しながら投資をしていきたいですね。



投資をするのはこれが初めてですが、お金を使うことは世の中を変えることにつながるのだと改めて感じています。一人の力では何もできませんが、こうして環境を守ることに貢献できるのは嬉しいことです。

「はまかせ」ちゃん¹

設備名称：市民風力発電所・浜頓別
エネルギーの種類：風力
設置場所：北海道浜頓別町
導入機器メーカー：Siemens(BONUS)
定格出力：990kW 1基
稼働開始：2001年9月
総事業費：約2億円
資金調達の方法：市民ファンド、
補助金、助成金等

ファンド名称：市民風力発電所・
浜頓別1号機匿名組合
営業者：(株) 浜頓別市民風力発電
募集期間：2000年12月～2001年7月
申込単位：1口50万円
契約総額：1億4150万円
運用期間：2001年9月10日～
2019年3月31日
目標年間利回り：2.5%

市民風車わんず²

設備名称：あおもり市民風力発電所
エネルギーの種類：風力
設置場所：青森県鯉ヶ沢町
導入機器メーカー：GE Wind Energy社
定格出力：1500 kW 1基
稼働開始：2003年2月
総事業費：約3億8千万円
資金調達の方法：市民ファンド、
補助金、助成金等

ファンド名称：市民風力発電所・青森1号機匿名組合
営業者：(株) 自然エネルギー市民ファンド
募集期間：2003年3月3日～
2003年9月16日
申込単位：1口10万円※原則1名様
(法人含む) 10口まで
契約総額：5820万円
運用期間：契約締結日～2012年2月29日にて終了
目標年間利回り：1.5%

天風丸(てんぷうまる)³

設備名称：天王市民風力発電所
エネルギーの種類：風力
設置場所：秋田県湯上市
導入機器メーカー：RE power Systems社
定格出力：1500 kW 1基
稼働開始：2003年3月
総事業費：約3億7千万円
資金調達の方法：市民ファンド、
補助金、助成金等

ファンド名称：市民風力発電所・秋田1号機匿名組合
営業者：(株) 自然エネルギー市民ファンド
募集期間：2003年3月3日～
2003年9月16日
申込単位：1口10万円※原則1名様
(法人含む) 10口まで
契約総額：4180万円
運用期間：契約締結日～2013年3月31日まで
目標年間利回り：1.5%

かりんぷう⁴

設備名称：いしかり市民風力発電所
エネルギーの種類：風力
設置場所：北海道石狩市
導入機器メーカー：Vestas Wind Systems社
定格出力：1650 kW 1基
稼働開始：2005年2月
総事業費：約3億3千万円
資金調達の方法：市民ファンド、
補助金、助成金等

ファンド名称：市民風車ファンドいしかり市民風力発電所匿名組合
営業者：(株) 自然エネルギー市民ファンド
募集期間：2004年10月15日～
2005年1月31日
申込単位：1口50万円(申込口数制限なし)
契約総額：2億3500万円
運用期間：契約締結日～2020年3月31日まで
目標年間利回り：2.4%



市民風車とは？

寄付に加えて市民出資という形で建設費用をまかない、市民が主体となって実現させる風力発電設備。NPOでは出資を取扱えないため、別途事業会社をつくりファンドを募集します。拠出した資金が誰によって何に使われるのかという透明性があることと、市民が自らエネルギーをつくるという夢への投資という側面から大きな関心を集め、第1号機となる「はまかせちゃん」は、市民からの出資金に自己資金を合わせた約1億6600万円と銀行からの融資によって建設されました。

「グリーン電気料金制度」とは？

グリーン電気料金制度は北海道グリーンファンドの立ち上げと同時に始まりました。月々の電気料金に5%を加えた額を支払い(事業所会員は1%以上の任意の料率で支払い)「市民共同発電所」実現のための基金として積み立て、運用する制度で、1ヶ月の電気料金が8000円だとしたら、400円がグリーンファンド分です。5%分をさらに負担するという考えではなく、省エネ、節電によって電気代を5%浮かせて、その分を基金にしようと呼びかけています。北海道に居住する人以外でも参加でき、その場合は年間定額1口5000円(団体法人は1口10000円)での寄付が可能です。



5



6

かぜるちゃん 5

設備名称：市民風力発電所・石狩
 エネルギーの種類：風力
 設置場所：北海道石狩市
 導入機器メーカー：Vestas Wind Systems社
 定格出力：1500kW 1基
 稼働開始：2005年2月
 総事業費：約3億3千万円
 資金調達の方法：市民ファンド、
 補助金、助成金等

ファンド名称：市民風車ファンド市民風力発電所・石狩匿名組合
 営業者：(株)自然エネルギー市民ファンド
 募集期間：2004年10月15日～
 2005年1月31日
 申込単位：1口50万円(申込口数制限なし)
 契約総額：2億3500万円
 運用期間：契約締結日～2020年3月31日まで
 目標年間利回り：2.4%



7

「まぐるん」ちゃん 6

設備名称：大間市民風力発電所
 エネルギーの種類：風力
 設置場所：青森県大間町
 導入機器メーカー：三菱重工業(株)
 定格出力：1000 kW 1基
 稼働開始：2006年3月
 総事業費：約2億5千万円
 資金調達の方法：市民ファンド、
 補助金、助成金等

ファンド名称：市民風車ファンド2006
 (大間・秋田・波崎・海上)匿名組合
 営業者：(株)自然エネルギー市民ファンド
 募集期間：2005年11月25日～
 2006年2月14日
 申込単位：1口50万円(1口以上1口単位)
 契約総額：8億6000万円
 運用期間：2006年2月15日～2021年3月31日まで
 目標年間利回り：2.3%

※風こまち、竿太郎、かざみ、なみまるも同ファンドから出資

風こまち 7

設備名称：マリーナ市民風力発電所
 エネルギーの種類：風力
 設置場所：秋田県秋田市
 導入機器メーカー：RE power Systems社
 定格出力：1500 kW 1基
 稼働開始：2006年3月
 総事業費：約3億3千万円
 資金調達の方法：市民ファンド、
 補助金、助成金等

ファンド名称：市民風車ファンド2006
 (大間・秋田・波崎・海上)匿名組合
 営業者：(株)自然エネルギー市民ファンド
 募集期間：2005年11月25日～
 2006年2月14日
 申込単位：1口50万円(1口以上1口単位)
 契約総額：8億6000万円
 運用期間：2006年2月15日～2021年3月31日まで
 目標年間利回り：2.3%

※「まぐるん」ちゃん、竿太郎、かざみ、なみまるも同ファンドから出資



8

竿太郎 (かんたろう) 8

設備名称：向浜市民風力発電所
 エネルギーの種類：風力
 設置場所：秋田県秋田市
 導入機器メーカー：Repower Systems社
 定格出力：1500 kW 1基
 稼働開始：2006年3月
 総事業費：約3億5千万円
 資金調達の方法：市民ファンド、
 補助金、助成金等

ファンド名称：市民風車ファンド2006
 (大間・秋田・波崎・海上)匿名組合
 営業者：(株)自然エネルギー市民ファンド
 募集期間：2005年11月25日～2006年2月14日
 申込単位：1口50万円(1口以上1口単位)
 契約総額：8億6000万円
 運用期間：2006年2月15日～2021年3月31日まで
 目標年間利回り：2.3%

※「まぐるん」ちゃん、風こまち、かざみ、なみまるも同ファンドから出資

ファンド業者が守る必要のある規則 ④ 広告の規制(金商法第37条) ③

リスクについての情報は、最も大きな文字・数字と著しく異ならない大ききで広告に表示します。



かざみ⁹

設備名称：うなかみ市民風力発電所
エネルギーの種類：風力
設置場所：千葉県旭市
導入機器メーカー：GE Wind Energy社
定格出力：1500 kW 1基
稼働開始：2006年9月
総事業費：約3億4千万円
資金調達の方法：市民ファンド、
補助金、助成金等

ファンド名称：市民風車ファンド2006
(大間・秋田・波崎・海上) 匿名組合
営業者：(株) 自然エネルギー市民ファンド
募集期間：2005年11月25日～
2006年2月14日
申込単位：1口50万円 (1口以上1口単位)
契約総額：8億6000万円
運用期間：2006年2月15日～2021年3月31日まで
目標年間利回り：2.3%

※「まぐるん」ちゃん、風こまち、竿太朗、なみまるも同ファンドから出資

なみまる¹⁰

設備名称：波崎未来エネルギー風力発電所
エネルギーの種類：風力
設置場所：茨城県神栖市
導入機器メーカー：GE Wind Energy社
定格出力：1500 kW 1基
稼働開始：2007年7月
総事業費：約3億5千万円
資金調達の方法：市民ファンド、
補助金、助成金等

ファンド名称：市民風車ファンド2006
(大間・秋田・波崎・海上) 匿名組合
営業者：(株) 自然エネルギー市民ファンド
募集期間：2005年11月25日～
2006年2月14日
申込単位：1口50万円 (1口以上1口単位)
契約総額：8億6000万円
運用期間：2006年2月15日～2021年3月31日まで
目標年間利回り：2.3%

※「まぐるん」ちゃん、風こまち、竿太朗、かざみも同ファンドから出資

かなみちゃん¹¹

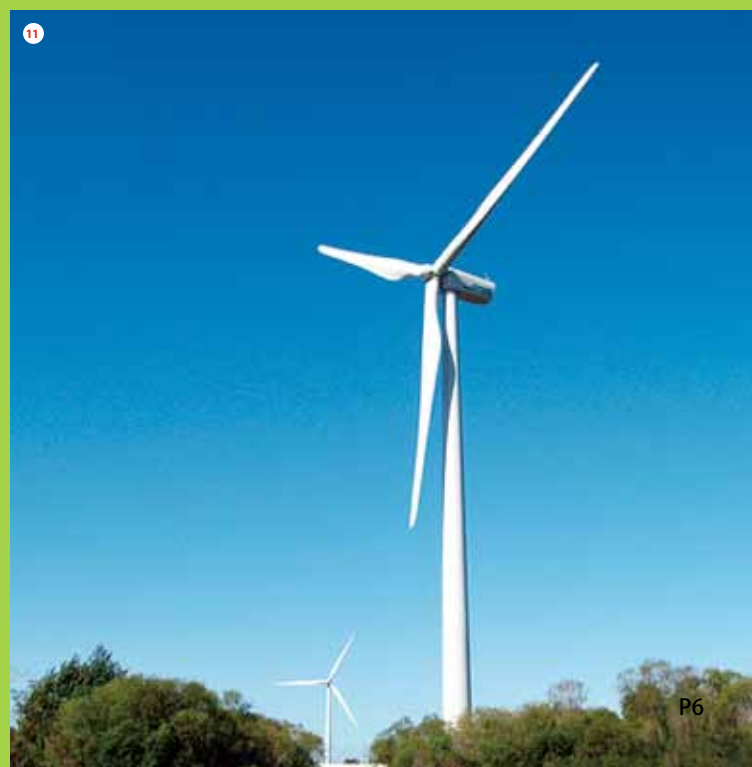
設備名称：市民風力石狩発電所
エネルギーの種類：風力
設置場所：北海道石狩市
導入機器メーカー：ALSTOM (Ecotecnia)
定格出力：1650kW 1基
稼働開始：2008年1月
総事業費：約4億2千万円
資金調達の方法：市民ファンド、
補助金、助成金等

ファンド名称：市民風車ファンド2008石狩匿名組合
営業者：(株) 自然エネルギー市民ファンド
募集期間：2007年11月1日～
2008年1月15日
申込単位：1口50万円 (1口以上1口単位)
契約総額：1億3500万円
運用期間：2008年1月16日～2023年3月31日
目標年間利回り：2.3%

のとりん¹²

設備名称：輪島コミュニティウインドファーム
エネルギーの種類：風力
設置場所：石川県輪島市
導入機器メーカー：RE power Systems社
定格出力：1980 kW 1基
稼働開始：2010年3月
総事業費：約5億3千万円
資金調達の方法：市民ファンド、
補助金、助成金等

ファンド名称：市民風車ファンド2010輪島もんぜん匿名組合
営業者：株式会社輪島もんぜん
募集期間：2009年12月18日～
2010年2月10日
申込単位：1口20万円
契約総額：9900万円
運用期間：2010年3月16日～2025年3月31日
目標年間利回り：2.3%



ファンド業者が守る必要のある規則⑤

契約締結前の書面交付義務(金商法第37条の3)①
金融商品取引業者であること及び登録番号などを契約締結前交付書面(目論見書、重要事項説明書)に記載します。





おひさまエネルギーファンド株式会社



ファンド購入希望・各種問い合わせ先
〒395-0044 長野県飯田市本町2-15 いうや3F
TEL：0265-56-3710 FAX：0265-56-3712
URL <http://www.ohisama-fund.jp>

成り立ち

民間企業として「NPO法人南信州おひさま進歩」が母体となり、設立されました。「おひさま進歩エネルギー（株）」とともに「おひさまグループ」として事業活動を行っており、主に自然エネルギー及び省エネルギー事業に係る匿名組合出資の募集、運営、管理など出資関連の事業を担っています。

活動内容

「おひさまファンド」を通じて、全国からの出資を募り、太陽光、風力、森林資源など地域のエネルギーを活用した自然エネルギー事業を実現しています。現在、運営中の5つのファンドもすべて順調に配当金を分配しており、温暖化防止と地産地消の循環型の地域づくりを推し進めています。また、自然エネルギーを利用した発電・発熱事業、省エネルギーに関する機器の導入販売およびリース、自然エネルギーの環境付加価値を証書化した「グリーン電力証書」等に関する販売及びコンサルティング等も行っています。

出資者の声

最も惹かれたのは、投資をすることで国や地域に還元できる点。出資金の使われ方がはっきりしているし、事業報告や通信を見ながら、今、どんな貢献ができていのかを確認するのも楽しいですね。



実際に利益が出て配当金が出た時は嬉しかったですよ。寄付とはまた違った形で、楽しみながら利益を上げながら環境に貢献できる。こうした取り組みが全国に広がり、日本中で根付いていけば素晴らしいと思います。

資金調達方法

行政からの補助金・助成金

民間金融機関からの借入

市民ファンド

現在運用中のファンド

名称：南信州おひさまファンド
営業者：おひさまエネルギーファンド株式会社
募集期間：2005年2月～2005年5月
申込単位：10万円／1口 50万円／1口
出資総額：2億150万円（476名）
運用期間：2005年～A号2015年3月31日、
B号2020年3月31日
目標年間分配利回り：2～3.3%

名称：温暖化防止おひさまファンド
営業者：おひさまエネルギーファンド株式会社
募集期間：2007年11月～2008年12月
申込単位：10万円／1口 50万円／1口
出資総額：4億3430万円（653名）
運用期間：2007年～A号2018年3月31日、
B号2023年3月31日
目標年間分配利回り：2.1～2.6%

名称：おひさまファンド2009
営業者：おひさまエネルギーファンド株式会社
募集期間：2009年6月～2009年9月
申込単位：10万円／1口 50万円／1口
出資総額：7520万円（145名）
運用期間：2009年～A号2024年3月31日、
B号2014年3月31日
目標年間分配利回り：1.1～2.5%

名称：信州・結いの国おひさまファンド
営業者：おひさまエネルギーファンド株式会社
募集期間：2010年10月～2011年1月21日
申込単位：10万円／1口 25万円／1口
出資総額：4790万円（103名）
運用期間：2010年～A号2020年3月31日、
B号2015年3月31日
目標年間分配利回り：2～2.5%

名称：信州・結いの国おひさまファンドⅡ
営業者：おひさまエネルギーファンド株式会社
募集期間：2011年10月～2012年1月
申込単位：10万円／1口
出資総額：8100万円（138名）
運用期間：2011年～2021年3月31日
目標年間分配利回り：2%



ファンド業者が守る必要のある規則 ⑥ 契約締結前の書面交付義務（金商法第37条の3）②

「損失が生ずることとなるおそれ」があるときは、そのことについて契約締結前交付書面（目論見書、重要事項説明書）に記載します。



導入した設備

太陽光発電



南信州を中心に公共施設・民間施設・個人宅向けに太陽光パネルを設置しており、2011年度末までに253箇所、約1,600kWの規模となっている。

代表的な場所：

1. 明星保育園（飯田市内の私立保育園）合計15.58kW（NPO寄付型3kW+おひさまファンド2009にて12.58kW設置）
2. 県みつば保育園（飯田市立）10kW（南信州おひさまファンドにて設置）

バイオマス



チップボイラー

長野県下伊那郡大鹿村の赤石荘（温泉旅館）：200kW（温暖化防止おひさまファンドにて設置）



小水力発電



小早月川発電所

河川の水を貯めることなく、高低差と流量を利用して発電。2012年4月から営業運転を開始し、年間発電量は5464MWh（見込み）。
（株）アルプス発電が営業者となり、立山アルプス小水力発電事業出資金と補助金により設置。



現在募集中のファンド（募集取扱い：おひさまエネルギーファンド株式会社／第二種金融商品取引業者関東財務局長（金商）1927号）

おひさまエネルギーファンドでは、新たに「地域MEGAファンド」を募集しています。出資金は自然エネルギー事業に直接投資され、温暖化防止に確実に貢献。事業から生まれた収益によって出資者に現金分配（元本返還及び利益の分配）が行われる計画です。自然エネルギー導入には大きな費用が必要であり、個人の導入は難しいのが現状。しかし、多くの市民が出資という形で共に取り組む事で、クリーンエネルギーの普及を実現させることができるのです。

ファンド名称：地域MEGAおひさまファンド匿名組合 営業者：おひさまグリッド3株式会社 募集総額（上限）：4億円

募集区分A号

申し込み単位：1口10万円 募集口数：2000口
目標年間利回り：2%
契約期間：10年
分配金支払日：決算日（毎年9月30日）から3か月以内（12月31日まで）
申込手数料：出資口数に関わらず、1契約につき5250円
途中解約：できません
募集期間：2012年7月30日～2013年2月22日（先着順）
契約の継承：出資者たる地位を継承する者（現金分配を受領する者）を予め定めておくことができる特約条項があります。

募集区分B号

申し込み単位：1口50万円 募集口数：400口
目標年間利回り：3%+プレミアム配当
契約期間：15年+5年（プレミアム期間）
分配金支払日：決算日（毎年9月30日）から3か月以内（12月31日まで）
申込手数料：出資口数に関わらず、1契約につき5250円
途中解約：できません
募集期間：2012年7月30日～2013年2月22日（先着順）
契約の継承：出資者たる地位を継承する者（現金分配を受領する者）を予め定めておくことができる特約条項があります。

※1：目標年間分配利回りは、事業計画上の目的であり、これを保証するものではありません。なお、この目標数値は事業が計画通りに行った場合の現金分配額を、1年満期の預金とした場合、この利率に相当します。これは税及び振込手数料を引く前の計算です。
※2：募集予定額に達し次第募集を終了する予定です。ただし、営業者の判断により、募集期間を延長したり、予告なく募集を終了することがあります。

「地域MEGAおひさまファンド」のお申し込みにあたって

以下は、重要事項説明書（契約締結前交付書面）に記載されているリスク、費用を要約したものです。その他の留意点など、詳しくは重要事項説明書（契約締結前交付書面）をご覧ください。

■リスクについて

主な損失リスクは以下のとおりです。但し、全てのリスクを網羅しているわけではありません。詳しくは、必ず重要事項説明書（契約締結前交付書面）をご覧ください。

●自然エネルギー事業への投資および対象匿名組合への出資に関するリスク
本匿名組合は、営業者が実施する対象エネルギー事業への投資を行います。したがって、本匿名組合の営業者であるおひさまグリッド3株式会社の業務又は財産の状況の悪化を直接の原因として、企図した分配金を受領できないおそれ並びに出資の一部又は全部が回収できないおそれがあります。

●営業者の倒産に関するリスク

本匿名組合にかかる財産の所有権はすべて営業者であるおひさまグリッド3株式会社に帰属し、匿名組合員たる出資者は、営業者が所有する財産に関して持分又は所有権その他のいかなる権利も有していません。すなわち、出資者は、他の一般債権者に優先するものではなく、営業者に対して、他の一般債権者と同等の債権を有しているにすぎません。よって、営業者であるおひさまグリッド3株式会社について、破産、民事再生等の法的倒産手続が開始した場合には、出資者は他の債権者と同等の地位において平等の割合による弁済を受けることになるため、企図した分配金を受領できないおそれ並びに出資者の一部又は全部が回収できないおそれがあります。

●流動性リスク

本匿名組合への出資金は、払い込みを行った日から最終償還日まで中途での全部解約又は一部解約による払い戻しはできません。また、原則として、出資者たる地位を第三者に譲渡することはできません。

■手数料について

本匿名組合契約の締結にあたっては、次に記載の手数料を営業者にお支払いいただきます。

a. 申込手数料：出資口数にかかわらず一律5,250円（税込み）

b. 譲渡手数料：やむを得ない事由により本匿名組合出資を譲渡する場合（かかる譲渡には営業者の承諾が必要となります。）
出資者は、5,000円（消費税別途）を営業者に支払うものとします。また、振込手数料、郵送料等譲渡に係るその他の費用を別途営業者に支払うものとします。

c. 振込手数料：出資者による出資金の支払及び営業者による分配金の支払、及び譲渡金の支払時における振込手数料を出資者にご負担いただきます。

d. 解約手数料：出資金額及び申込手数料の振込みが本匿名組合契約締結の日から14日以内になされない場合、営業者は本匿名組合契約を直ちに解除し、かつ出資者に対し、出資金額の6%相当額の解約手数料を請求することができます。

e. 書面による解除（クーリングオフ）時手数料：出資者が本匿名組合契約を締結し契約書を受領した日から10日間を経過するまでの間に、営業者に書面による解除を申し出た場合、本匿名組合契約を解除することができます。その際、出資金の返還に係る振込手数料をご負担いただきます。また、すでにお振込いただいた申込手数料（5,250円）は返還いたしません。

※振込手数料については、金融機関により相違・変動するものであり、事前に料率等を示すことができません。※郵送料については、郵送会社や書類の重さ等により相違・変動するものであり、事前に料率等を示すことができません。

ファンド業者が守る必要のある規則⑦ 契約締結時の書面交付義務（金商法第37条の4）

金融商品取引契約が成立したときは、遅滞なく書面を作成し、これを顧客に交付します。



備前グリーンエネルギー株式会社



成り立ち

備前市は環境省の「環境と経済の好循環のまちモデル事業」を実施するモデル地域の一つとして選ばれました。この事業を実施するために市民・行政・事業者のパートナーシップにより発足した任意団体「備前みどりのまほろば協議会」の事業会社として設立されたのが備前グリーンエネルギー株式会社です。「持続可能な地域社会を目指して、環境に優しいエネルギーでまちづくりを進める」という理念を市民参加のもとに推進しています。

活動内容

省エネサービスや自然エネルギー導入による地球温暖化防止の推進、廃棄物の有効活用等、事業所におけるゼロミッション実現に向けた取り組みへのコンサルティング事業を行っています。また市民からの出資を募り、太陽光発電所の設立、バイオマス・省エネルギー等の自然エネルギー・省エネルギー事業への投資も行っています。過去に2度の市民ファンドを活用し、自然エネルギー事業を行ってきました。

資金調達方法

行政からの補助金・助成金

市民ファンド

現在運用中のファンド

名称：備前みどりのエネルギーファンド
営業者：おひさまエネルギーファンド株式会社
募集期間：2006年3月～2006年5月
申込単位：10万円／1口 50万円／1口
出資総額：1億8800万円（396名）
運用期間：2006年～2023年（予定）
目標年間分配利回り：2.1～2.6%

名称：温暖化防止おひさまファンド（長野県、岡山県、北海道という全国3拠点での自然エネルギー事業及び省エネルギー事業への出資を募集）
営業者：おひさまエネルギーファンド株式会社
募集期間：2007年11月～2008年12月
申込単位：10万円／1口 50万円／1口
出資総額：4億3430万円（653名）
運用期間：2007年～A号2018年3月31日、B号2023年3月31日
目標年間分配利回り：2.1～2.6%

各種問い合わせ先

〒709-0224 岡山県備前市吉永町吉永中885
TEL 0869-84-9500 FAX 0869-84-2332
E-mail info01@bizen-greenenergy.co.jp
URL <http://www.bizen-greenenergy.co.jp/>

ファンド業者が守る必要のある規則⑧ 各種禁止行為（金商法第38条）①

「虚偽のことを告げる行為」や「不確実な事項について断定的判断を提供して勧誘をする行為」は禁止されています。



導入した設備

おかやまさんさん発電所

「温暖化防止おひさまファンド」を通じた全国の市民の出資金と、環境省の「環境と経済のまちモデル事業」交付金によって初期費用が負担され、幼稚園・保育園・小学校・公民館など地域の環境教育の拠点となる教育施設を中心に太陽光パネルを設置しています。現在まで導入したパネルは1884枚と、サッカーコート約3分の1面の面積に相当。この他にも太陽光システム関連装置を導入しており、17箇所の設備を総称した愛称が「おかやまさんさん発電所」です。

名称：おかやまさんさん発電所
 エネルギーの種類：太陽光
 設置場所：岡山市内6施設・備前市内9施設・瀬戸内市内2施設
 導入機器メーカー：京セラ・シャープ
 定格出力：合計335kW（設備容量）
 稼働開始：2008年4月
 総事業費：約2億円
 資金調達の方法：国（環境省）からの補助金、市民出資（長野県、岡山県、北海道という全国3拠点での自然エネルギー事業及び省エネルギー事業への出資を募集）



出資者の声

出資という形で環境に貢献できることはとても嬉しいことです。一人ひとりができることは限られているけれど、こうして多くの人の気持ちとお金が集まることで具体的な行動に移せるのですから。

子育てが終わり孫が生まれたことをきっかけに、環境への意識が以前より高くなりました。四季を感じ、ゆったりとしたときの中で生活したい。そう思うのは誰もが共通したことだと思います。安心、安全な生活を子供たちへ、孫たちへ。



ファンドによって実現したプロジェクト

2005年からスタートした「備前みどりのエネルギーファンドプロジェクト」は、主として、木質バイオマスの利用を推進する事業が進められています。



備前みどりのエネルギーファンドプロジェクト		
事業名	グリーン熱サービス事業	省エネルギー事業
目的と内容	主として、木質バイオマスを活用した自然エネルギー設備（薪ストーブ、ペレットストーブ）による熱の供給	公共・民間施設を対象省エネルギー実施のための計画策定、それに基づく省エネルギー設備の導入と維持管理
事業費（予定）	1,000万円	2億7,000万円
総事業費（予定）	合計2億8,000万円	
備前みどりのエネルギーファンド投入額（予定）	1億9,000万円	
補助金（予定）	平成17年度選定（平成17年、平成18年、平成19年の3カ年事業） 環境省「環境と経済の好循環のまちモデル事業」交付金 9,000万円	
事業期間	2006年～2023年（予定）	
事業の契約先	岡山県備前市内の公共施設、民間施設、住宅	

【グリーン熱サービス事業】

木質バイオマスを活用した自然エネルギー設備による熱供給を促進しています。地域の企業や病・医院、フルーツパークびぜん（体験型農業公園）等に薪ストーブ、ペレットストーブを導入しました。

【省エネルギー事業】

公共・民間施設を対象に、省エネルギー実施のための計画策定、それに基づく省エネルギー設備の導入、維持管理を行っています。備前市役所（本庁舎・日生総合支所・吉永総合支所の3施設）、特別養護老人ホーム亀楽荘の断熱・空調・給湯システムの改修を行いました。

ファンド業者が守る必要のある規則 ⑨ 各種禁止行為（金商法第38条）②

顧客に迷惑を覚えさせるような時間に電話又は訪問により勧誘をすることは禁止されています。（金商法業府令第117条第1項第7号）





きょうとグリーンファンド



寄付・入会希望、各種問い合わせ先
〒600-8191 京都市下京区五条高倉角堺町21事務機の
ウエダビル206（火曜日～金曜日：午後1時～5時）
TEL/FAX：075-352-9150
E-mail info@kyoto-gf.org
URL http://www.kyoto-gf.org/

1

成り立ち

子どもたちに健やかな地球を手渡すために。きょうとグリーンファンドは、省エネ型の暮らしと社会をめざしながら自然エネルギーを普及していく活動に取り組むNPO法人です。2000年の設立以来、「環境のために何かしたい」と考える人たちが、無理なく続けて参加できる仕組みづくりを続けています。

活動内容

市民や団体が少しずつ節電・省エネ分程度の額を寄付し、「おひさま基金」として積み立てていきます。その基金を活かして市民参加の発電所「自然エネルギーおひさま発電所」を15機導入してきました。補助金申請を含めた資金計画、広報、寄付金取りまとめ、設置工事業者との折衝など設立までのサポートはもちろん、その後、施設が地域の環境学習の拠点、エコ施設となるよう継続的にサポートを続けていきます。

資金調達方法

行政からの補助金・助成金

寄付

「孫たちにツケを残さない生活を」が私のモットー。「次の時代はもっと自然エネルギーを」という思いを伝えるために、二人の子どもの名前で寄付します。太陽光パネルに子どもの名前が残るのもうれしいですね。



寄付者の声

寄付金を出すということは、自分の意思を表明することでもあると思います。こうしたプロジェクトがあることはとても有意義ですね。人々の意思表示の場を提供していることにもなるのですから。



2



3

導入した設備

設置場所は保育園や共同作業所など公共的な施設が中心で、公募により選定。完成を祝う点灯式を迎えるまで約1年、設置先の施設と協議しながらプロジェクトを進めていきます。完成後も環境学習イベントなど、次世代に豊かな地球環境を手渡す取り組みを行っています。

名称：つくしおひさま発電所 ①
エネルギーの種類：太陽光
設置場所：京都市伏見区
導入機器メーカー：昭和シェルソーラー
定格出力：4.48kW
稼働開始：2008年2月
総事業費：820万円
資金調達の方法：補助金（国）50%、補助金（民間）11%、寄付9%、施設資金12%、きょうとグリーンファンド基金18%

名称：あけぼのおひさま発電所
エネルギーの種類：太陽光
設置場所：京都市伏見区
導入機器メーカー：神戸製鋼
定格出力：5kW
稼働開始：2002年2月
総事業費：560万円
資金調達の方法：補助金（国）44%、寄付43%、施設資金6%、きょうとグリーンファンド基金7%

名称：向島おひさま発電所
エネルギーの種類：太陽光
設置場所：京都市伏見区
導入機器メーカー：昭和シェルソーラー
定格出力：10kW
稼働開始：2009年1月
総事業費：1104万円
資金調達の方法：補助金（国）50%、補助金（民間）5%、寄付6%、施設資金30%、きょうとグリーンファンド基金9%

名称：かがやきおひさま発電所 ②
エネルギーの種類：太陽光
設置場所：京都市伏見区
導入機器メーカー：三洋電機
定格出力：10.75kW
稼働開始：2006年12月
総事業費：1043万円
資金調達の方法：補助金（国）36%、補助金（民間）13%、寄付4%、施設資金32%、きょうとグリーンファンド基金15%

名称：おみやおひさま発電所 ③
エネルギーの種類：太陽光
設置場所：京都市北区
導入機器メーカー：京セラ
定格出力：10.80kW
稼働開始：2006年1月
総事業費：1100万円
資金調達の方法：補助金（国）37%、補助金（民間）24%、寄付8%、施設資金23%、きょうとグリーンファンド基金8%

この他、10施設に太陽光発電設備を導入しています。

ファンド業者が守る必要のある規則 ⑩ 損失補てんの禁止（金商法第39条）

事前の損失補償の申込み・約束、事後の損失補てんの申込み・約束、財産上の利益の提供は禁止されています。





NPO法人 環境ネットワークくまもと

寄付・入会希望、各種問い合わせ先
 〒862-0973 熊本県熊本市中央区大江本町6-24
 TEL/FAX 096-362-3776
 E-mail home@kakuma.jp
 URL http://www.kankuma.jp

成り立ち

持続可能な農的暮らしと健康な地域社会を実現するため、1994年10月に結成されました。熊本県内外で環境保全活動に取り組む各団体・個人をゆるやかにネットワークし、情報交換や各団体の活動紹介を行って環境保全活動への市民の参加と支援を呼びかけるNPO団体です。

活動内容

地域の資源を活かした持続可能な自然エネルギーづくりに2004年から取り組み、これまで県内5か所で市民共同による太陽光発電所の設置事業を支援しました。また、講演会や自然体験型の学習会などの啓発活動を企画・実施し、NGO間や行政、企業とのパートナーシップも進めています。これらの活動を通して、市民による主体的な環境保全活動の拡大と、計画や政策の策定、実施、評価、見直しのすべての段階への市民参画のプロセスの確立を目指して活動しています。



資金調達方法

売電益 寄付 借入 行政からの補助金・助成金



導入した設備

保育園や病院、レストラン屋上などに太陽光パネルを設置しています。第4号機は石原修教授（尚絅大学：元熊本大学工学部）が実験で使用していたパネルをリユースした全国初「リユース太陽電池」の市民共同発電所。176枚のパネルを甦らせるため、小学生を含む市民ボランティアで作業を行い、実現させました。

名称：かんくま
 おひさまプロジェクト（1号機）
 エネルギーの種類：太陽光
 設置場所：北部病院
 導入機器メーカー：
 定格出力：12kW
 稼働開始：2004年4月
 総事業費：1000万円
 資金調達の方法：寄付（15%）、
 NEDO補助金、九州グリーンファンド
 電力基金、REPWグリーンファンド

名称：かんくま
 おひさまプロジェクト（2号機）
 エネルギーの種類：太陽光
 設置場所：熊本YMCA水前寺幼稚園
 導入機器メーカー：
 定格出力：13kW
 稼働開始：2007年1月
 総事業費：850万円
 資金調達の方法：寄付（6%）、NEDO
 補助金、かんくまファンド

名称：かんくま
 おひさまプロジェクト（3号機）
 エネルギーの種類：太陽光
 設置場所：喜育園立山東保育園
 導入機器メーカー：ホンダソルテック
 定格出力：12kW
 稼働開始：2010年3月
 総事業費：900万円
 資金調達の方法：寄付（3%）、NEDO
 補助金、九州グリーンファンド電力基
 金、かんくまファンド

名称：かんくま
 おひさまプロジェクト（4号機）
 エネルギーの種類：太陽光
 設置場所：熊本県水俣・福田農場ワイナリー
 導入機器メーカー：シャープ、京セラ
 （リユースパネル）
 定格出力：8.5kW
 稼働開始：2010年3月
 総事業費：450万円
 資金調達の方法：かんくま私募債・熊
 本県補助金

名称：かんくま
 おひさまプロジェクト（5号機）
 エネルギーの種類：太陽光
 設置場所：熊本学園大学付属敬愛幼稚園
 導入機器メーカー：三菱
 定格出力：12kW
 稼働開始：2012年3月
 総事業費：750万円
 資金調達の方法：熊本県補助金、家電・
 住宅エコポイント寄付、かんくまファ
 ンド（アサヒビール寄付金）

寄付者の声

病院や幼稚園といった生活に身近な場所に太陽光発電パネルが設置されて、注目されやすいのが良かったと思います。省エネへの取り組みが目に見える形となって人々の関心を集め、市民一人ひとりの意識を変えていければ、それこそ大きな成果です。



どういう使い方をするのが見えるから、寄付をする側にとってもやり甲斐がありますね。小さな額でも、そこに自分も参加しているのだと思えるのはとても気持ちがいいものです。

ファンド業者が守る必要のある規則 ① 適合性の原則（金商法第40条）

顧客の知識・経験・財産の状況及び契約締結の目的に照らして不適当な勧誘を行い、投資者保護に欠けることのないようにします。



認定NPO法人おかやまエネルギーの未来を考える会



寄付・入会希望、各種問い合わせ先
 〒700-0807 岡山県岡山市北区南方1-6-7
 TEL 086-232-0363
 E-mail enemira@okayama.email.ne.jp
 URL <http://enemira.milkcafe.jp>

成り立ち

2000年7月 主婦10名で発足した任意団体「エネルギーの未来を考える会」が前身。2002年に岡山市との協働で岡山市立保育園に太陽光発電システムによる市民共同発電所1基を設置したことを機にNPO法人の認証を取得、「おかやまエネルギーの未来を考える会」（会員数150名）に改称しました。

活動内容

岡山市内の施設に市民共同発電所を4機設置したほか、ペレットストーブ・太陽熱温水器の導入支援、照明のエコ化など直接的な二酸化炭素排出の削減を進めています。また、小学校への出前授業、大人向けの人材育成講座、エコツアー、講演会や環境イベントの企画・運営等々を行い、市民に向けての普及啓発事業に取り組んでいます。

資金調達方法

寄付

行政からの補助金・助成金

民間からの補助金・助成金

その他：自己資金等

導入した設備

自治体と連携し、保育園や図書館など身近な施設に太陽光パネルを設置。発電相当分が交付金で還付される仕組みです。施設内には発電量を示す「表示器」が設けられ、現在の発電量や今日1日の発電量、二酸化炭素の削減量を分かりやすく表示し、環境への関心を喚起しています。

名称：中山おひさま発電所 ①
 エネルギーの種類：太陽光
 設置場所：岡山市立中山保育園
 導入機器メーカー：三菱
 定格出力：5.2kW
 稼働開始：2002年9月
 総事業費：540万円
 資金調達の方法：補助金（国）48%、寄付金32%、自己資金20%

名称：にしきおひさま発電所 ②
 エネルギーの種類：太陽光
 設置場所：岡山市立錦保育園
 導入機器メーカー：京セラ
 定格出力：10.16kW
 稼働開始：2007年11月
 総事業費：720万円
 資金調達の方法：国の補助金48%、寄付金30%、建設協力金（内部での借入金）22%

名称：福渡おひさま発電所 ③
 エネルギーの種類：太陽光
 設置場所：岡山市立福渡保育園
 導入機器メーカー：京セラ
 定格出力：10.08kW
 稼働開始：2010年12月
 総事業費：650万円
 資金調達の方法：補助金（国）46%、寄付23%、助成金（民間）7%、自己資金24%

名称：瀬戸おひさま発電所
 エネルギーの種類：太陽光
 設置場所：岡山市瀬戸町図書館
 導入機器メーカー：京セラ
 定格出力：4kW
 稼働開始：2012年2月
 総事業費：350万円
 資金調達の方法：岡山市の助成金30%、民間助成金5%、寄付金25%、自己資金40%



地元でこういう団体があるとは知りませんでした。なかなか時間が取れなくてボランティア活動をするのは難しいけれど、少しでもお役に立てればと思い、寄付をさせていただきます。

こんな活動こそが未来につながっていくのだと思います。自然のめぐみを電力に変えて、安心して暮らせる環境を守っていく。会の趣旨や活動内容に賛同します。微力ですが、これからも協力していきたいです。

寄付者の声



再生可能エネルギー発電のリスク

再生可能エネルギー発電の発電量は、日照時間や、風況、水量等の自然条件に左右されます。

ファンド業を立ち上げる際は、事前調査を十分に行うことが重要です。



成り立ち

化石燃料や原子力に頼らない自然エネルギーを、市民と力をあわせて普及させることを目的として、「ならコープ」の組合員をメンバーに結成した環境サークルです。2002年秋の設立以来、地球温暖化防止や自然エネルギー利用の学習・啓発活動、奈良県内に太陽光を利用した市民共同発電所を作るための活動をすすめています。

活動内容

サークルおてんとさんは、奈良県内に市民共同発電所を設置するために、他団体とも連携し情報収集を重ねながら具体化を進めてきました。現在まで3機の市民発電所を設置。温暖化防止に貢献しながら、自然エネルギーに対する啓発活動を行っています。



資金調達方法

行政からの補助金・助成金

寄付

寄付・入会希望、各種問い合わせ先
〒630-8101奈良県奈良市青山5-2-11
TEL 080-3137-4595
FAX 0742-26-6206
E-mail shimi-zu@nike.eonet.ne.jp
URL <http://www.geocities.jp/otentsan/>

導入した設備

特別養護老人ホーム、社会福祉施設、保育園に太陽光パネルを設置しました。施設訪問者にアピールしたり、広く見学希望も受け入れています。自然エネルギーに関する学習・啓発施設としての役割も担っており、社会福祉施設の発電所では、毎月の発電量のチェックを障がい者の方が行っています。

名称：あすなら苑おてんとさん発電所 ①
エネルギーの種類：太陽光
設置場所：奈良県大和郡山市特別養護老人ホーム「あすなら苑」
導入機器メーカー：サンヨー
定格出力：20kW
稼働開始：2004年2月
総事業費：1,830万円
資金調達の方法：助成金50% 寄付金50%

名称：ならのはおてんとさん発電所 ②
エネルギーの種類：太陽光
設置場所：奈良県奈良市神功 社会福祉法人「ならのは」
導入機器メーカー：シャープ
定格出力：10kW
稼働開始：2007年2月
総事業費：630万円
資金調達の方法：助成金50% 寄付金50%

名称：あすなら保育園おてんとさん発電所 ③
エネルギーの種類：太陽光
設置場所：奈良県大和郡山市「あすなら保育園」
導入機器メーカー：ホンダ
定格出力：10kW
稼働開始：2011年11月
総事業費：813万円
資金調達の方法：助成金53% 寄付金25%

自然エネルギー市民の会



成り立ち

自然エネルギー市民の会は、風力、太陽光、バイオマス、小水力などの再生可能エネルギー利用を普及することによって地球温暖化をくい止め、原子力に頼らない持続可能な社会の実現を目指して2004年7月18日に設立。市民参加型の普及は地域社会の自立的発展にも寄与するという理念を掲げ、活動に努めています。

活動内容

自然エネルギーについての調査・研究・普及・啓発活動、自然エネルギー普及のための政策提言、市民による発電所づくりの3つを柱に活動しています。2006年には保育園の屋根に太陽光パネルを設置し、市民発電所を設立。地域と連携した市民による自然エネルギーづくりに取り組んでいます。

資金調達方法

寄付

行政からの補助金・助成金

その他：建設協力金など

導入した設備

ぼっぼ第二保育園の太陽光発電設備は行政からの補助金と寄付、建設協力金から建設費用が賄われました。建設協力金とは、1口10万円に関係者に協力を依頼し、無利子で毎年5000円ずつ20年間をかけて返済するもの。多くの方のご協力で実現させることができました。



寄付・入会希望、各種問い合わせ先
〒540-0026大阪市中央区内本町2-1-19-470
TEL 06-6910-6301
FAX 06-6910-6302
E-mail wind@parep.org
URL <http://www.parep.org>

名称：ぼっぼおひさま発電所
エネルギーの種類：太陽光
設置場所：ぼっぼ第二保育園屋上
導入機器メーカー：京セラ
定格出力：10kW
稼働開始：2006年3月
総事業費：1200万円
資金調達の方法：補助金50%、寄付や建設協力金50%

一般投資家のみなさまへの注意点 ① 金融商品取引業の登録又は届出をせずにファンド募集を行っている業者からの勧誘に応じることのないようご注意ください。

金融庁HP「免許・許可・登録を受けている業者一覧」<http://www.fsa.go.jp/menkyo/menkyo.html>「無登録で金融商品取引業を行う者の名称等について」<http://www.fsa.go.jp/ordinary/chuui/mutouroku.html>



横浜市

各種問い合わせ先

〒231-0017 神奈川県横浜市中区港町1-1 横浜市環境創造局環境エネルギー課
 TEL 045-671-2681 FAX 045-641-3490
 E-mail ks-wind@city.yokohama.jp
 URL <http://www.city.yokohama.lg.jp/kankyo/ondan/furyoku/>

事業概要

横浜市では、自然エネルギーの利用促進や地球温暖化対策に寄与し、市民一人ひとりが具体的行動を起こすきっかけとする事業として、風力発電事業を始めました。この事業は市債発行による市民の参加と「Y-グリーンパートナー」としての企業協賛により、市民、事業者、行政の3者が協働で市の環境行動のシンボリック事業として取り組んでいます。

市債の内容

「ハマ債風車（かざぐるま）」は横浜市で初めてとなる事業を特定した「住民参加型市場公募債」。環境に配慮した施設建設の資金調達のために発行するという趣旨から、通常市債よりも低い金利水準に設定されていたにもかかわらず、多くの市民に支持され、購入されました。また、事業収入の一部（金利軽減分に相当する額）は緑化事業に活用されました。

導入した設備

平成19年3月、横浜港瑞穂ふ頭に横浜市風力発電所「ハマウイング」を建設しました。港の風景になじむよう、下から上へ、青色から白色へのグラデーションが美しいデザインです。なお、現地と臨港パーク（西区みなとみらい）には風速や発電量が一目でわかる発電表示板を設置しています。平成21年6月には、新エネルギー等利用の優れた取り組みを評価する「新エネ百選」にも選ばれました。

市担当者の声

「ハマ債風車」は、通常の市債よりも金利が低いにもかかわらず、環境への貢献を目的に購入される方が多く、市民の皆様の関心の高さを改めて実感しました。取扱金融機関の方のお話では、開店前から購入するために並んでくださった方も多かったとのこと、わずか3日間で完売し、ハマウイング建設を実現させることができました。これからも市民の皆様の風車として、末永く応援していただきたいと考えています。

●ハマ債風車

募集期間：2007年2月5日～15日
 運用期間：2007年2月～2012年2月
 申込単位：1万円／1口（最高200万円）
 利率：1.18%
 発行総額：2億8000万円

名称：横浜市風力発電所（愛称：ハマウイング）
 エネルギーの種類：風力
 設置場所：横浜市神奈川区鈴繁町8-1
 導入機器メーカー：ヴェスタス社
 定格出力：1980kW
 稼働開始：2007年4月
 総事業費：5億2785万8千円
 資金調達の方法：助成金41.6%、ハマ債風車53%、その他5.4%



各種問い合わせ先

〒402-0053 山梨県都留市上谷1-1-1 都留市政策形成課

TEL 0554-43-1111 FAX 0554-45-5005

E-mail kikaku2@city.tsuru.lg.jp

URL http://www.city.tsuru.yamanashi.jp/forms/info/info.aspx?info_id=2681

事業概要

周囲を美しい山々が囲み、市内には豊富な水量のある家中川が流れることから「水の谷（アクアバレー）」と呼ばれている都留市。「持続可能な定常社会」を目指し、小水力発電設備を設置しました。建設資金調達のため、都留市在住の市民に向けて市債を2回にわたって発行し、現在3つの小水力発電所が稼働しています。多くの市民に支えられたこれらの発電所は『家中川小水力市民発電所』と名づけられました。市役所周辺は「環境学習フィールド」と位置付けられ、小水力をきっかけに多くの方が都留市を訪れています。

市債の内容

都留市の住民参加型市場公募債（愛称「つるのおんがえし債」）は、小水力発電設備の建設費用調達を目的として発行された市債です。市民が投資家という立場で市の行財政運営に参加する側面もあり、当初の想定を大きく上回る申し込みがありました。利用可能なエネルギーとして期待されている小水力発電。市民参加型で普及啓発活動に取り組んでいます。

●第1回つるのおんがえし債

募集期間：2007年10月24日～28日

運用期間：5年

申込単位：10万円/口

目標年間分配利回り：0.9%

出資総額：1700万円

●第2回つるのおんがえし債

募集期間：2009年12月21日～25日

運用期間：5年

申込単位：10万円/口

目標年間分配利回り：0.6%

出資総額：2360万円

導入した設備

イニシャルコストこそある程度かかるもののランニングコストはほとんどかからず、24時間稼働しつづけるという点で水力発電は高効率な発電方式です。元気くん1号は下掛け水車で、元気くん2号は高い落差を利用した上掛け水車。元気くん3号は少ない落差でも発電ができる螺旋水車です。それぞれの地形と特徴に応じて設置されており、1号機2号機3号機とも、隣接するエコハウスや植物工場に電力を供給しています。

名称：家中川小水力市民発電所「元気くん1号」
エネルギーの種類：中小水力
設置場所：都留市内
導入機器メーカー：ハイドロワット社
定格出力：20kW
稼働開始：2006年4月
総事業費：約4300万円
資金調達の方法：市民ファンド35%、補助金39%、一般財源26%

名称：家中川小水力市民発電所「元気くん2号」
エネルギーの種類：中小水力
設置場所：都留市内
導入機器メーカー：ハイドロワット社
定格出力：19kW
稼働開始：2010年5月
総事業費：約6200万円
資金調達の方法：市民ファンド37%、補助金52%、一般財源11%

名称：家中川小水力市民発電所「元気くん3号」
エネルギーの種類：中小水力
設置場所：都留市内
導入機器メーカー：リハート社
定格出力：7.3kW
稼働開始：2012年3月
総事業費：約3000万円
資金調達の方法：補助金100%



市担当者の声

もともと水の豊かな地形ということもあり、以前から水力発電の市民研究グループが都留市内にありました。今回のプロジェクトは、市民グループの提案を政策の柱と位置付け、スタートしたものです。市債は都留市内にお住まいの方のみを対象としていましたので、市民の研究を市民が応援する形になりました。地元の環境保全への取り組みが目に見える成果となり、多くの方が観光や見学に訪れてくださるようになりました。

一般投資家のみならずへの注意点 ③ 契約締結前交付書面（目論見書、重要事項説明書）の説明をよく聞き、ファンド業者からの説明内容が理解できない状態での契約はなさないください。



再生可能エネルギー導入促進についてのお問い合わせ窓口

経済産業省資源エネルギー庁 新エネルギー対策課 再生可能エネルギー推進室
〒100-8901 東京都千代田区霞が関1丁目3番地1号

☎ 03-3501-1511 (代表)

なっとく！再生可能エネルギー <http://www.enecho.meti.go.jp/saiene/index.html>

北海道

北海道経済産業局 資源エネルギー環境部 エネルギー対策課
〒060-0808 札幌市北区北8条西2-1-1 札幌第一合同庁舎

☎ 011-709-2311
(内線2638)

青森県・岩手県・宮城県・秋田県・山形県・福島県

東北経済産業局 資源エネルギー環境部 エネルギー課
〒980-8403 仙台市青葉区本町3-3-1

☎ 022-221-4932
(直通)
☎ 022-221-4805
(相談窓口)

茨城県・栃木県・群馬県・埼玉県・千葉県・東京都・神奈川県・山梨県・長野県・新潟県・静岡県

関東経済産業局 資源エネルギー環境部 エネルギー対策課
〒330-9715 さいたま市中央区新都心1-1 合同庁舎1号館

☎ 048-600-0363

富山県・石川県・岐阜県・愛知県・三重県

中部経済産業局 資源エネルギー環境部 エネルギー対策課
〒460-8510 名古屋市中区三の丸2-5-2

☎ 052-951-2775

福井県・滋賀県・京都府・大阪府・兵庫県・奈良県・和歌山県

近畿経済産業局 資源エネルギー環境部 エネルギー対策課
〒540-8535 大阪市中央区大手前1-5-4 4

☎ 06-6966-6043

鳥取県・島根県・岡山県・広島県・山口県

中国経済産業局 資源エネルギー環境部 エネルギー企画担当
〒730-8531 広島市中区上八丁堀6-3 0 広島合同庁舎2号館

☎ 082-224-5818

徳島県・香川県・愛媛県・高知県

四国経済産業局 資源エネルギー環境部 エネルギー対策課
〒760-8512 高松市サンポート3番33号高松サンポート合同庁舎5~7F

☎ 087-811-8535

福岡県・佐賀県・長崎県・熊本県・大分県・宮崎県・鹿児島県

九州経済産業局 資源エネルギー環境部 エネルギー対策課
〒812-8546 福岡市博多区博多駅東2-1 1-1

☎ 092-482-5475

沖縄県

内閣府沖縄総合事務局 経済産業部 エネルギー対策課
〒900-0006 沖縄県那覇市おもろまち2丁目1番1号那覇第二地方合同庁舎2号館

☎ 098-866-1759

